

富山県立乳児院通信



● 発行元 ●
日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

— 令和6年 新春号 —



令和6年1月1日のこと

院長補佐 久道晴美

新年を迎え、子どもたちは近くの神社にお参りに行きました。肌寒いけれど天気も良くお散歩日和です。それぞれ、何を願ったのかな？職員は何を願ったのかな？「子どもたちの安全と幸せ」を願ったに決まっています、たぶん…。

乳児院に戻りしばらくすると、大きな揺れが…。これまでに感じたことのない揺れです。午後4時10分、震度5強。津波警報が発令されました。養育係長の一声で2階の会議室に垂直避難しました。子どもの避難、必要物品の移動など。自主登院した職員も含め職員が互いに声を掛け合い、行動してくれました。津波警報が解除される2日の朝まで子どもたちと職員は2階会議室での生活です。子どもたちは揺れに対する驚きや怖さはあったもののその後の2階会議室での初めての生活はもの珍しく楽しそうでした。職員が握ったおにぎりやハンバーグをおいしく食べました。時間の経過とともに建物の破損が明らかになっていきますが、子どもたちの安全・安心を守ることはできました。その後も普段と変わらず生活できています。

緊急時には指示を待つのではなく、それぞれが互いに知恵を出し合い、声を掛け合い協力して関わるのが大切です。今回は休日であったものの養育係長が勤務していたこと、勤務の交代時間で職員の数が多かったことは幸いでした。

災害時のマニュアルに基づき訓練は行っていますが、実際に経験すると色々な問題点や課題が明確になりました。早急にこの経験を職員全員が共有し、課題解決に取り組みます。

大変な思いをされている方は多くいらっしゃいます。『私たちができることは何か…』を考え行動していきたいと思います。

今年もよろしくお願いいたします。



<富山県立乳児院ってどんなところ？>

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児（0～3歳まで）を保護者にかわって24時間養育する施設です。（児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。）



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

お名前	
<10月>	吉田さん（富山県） ㈱KANAYA 松井さん（富山県）
<11月>	吉田さん（富山県） ミライト（株）桜井さん 齊藤さん（富山県） 竹下さん（富山県） 岡崎さん（富山県） 門司さん（東京都）
<12月>	吉田さん（富山県） 門司さん（東京都） 松田さん（富山県） 細川さん（富山県） よしだ医院 院長 吉田さん（富山県）

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1 苦情解決責任者 | 久道 晴美（院長補佐） |
| 2 苦情受付担当者 | 荒川 智江子（事務長） |
| 3 苦情解決相談員 | 本間 一正、 岡田 芳美 |
| 4 苦情解決の方法 | 担当者が随時、面接、電話、書面などにより受付ます。 |
| 5 苦情解決の連絡先 | 電話：076-432-8137 FAX：076-432-8238 |

管理栄養士より

もぐもぐだよ!

富山市子育て世帯お米緊急支援事業にて、新米をいただきました。炊き立てのごはんを子どもたちの目の前で盛り付けました。普段は茶碗に盛り付けたごはんが配膳されますが、炊き立てほかほかごはんを見た子どもたちは「おいしそう!」「早く食べたい!」と大興奮。おかわりする子どもたくさんいました。

とても好評だったので、次回は炊き込みご飯を計画中です。



これからの行事予定

2月
節分



3月
ひな祭り



富山県里親支援機関事務局

里親が育てる。社会が支える。

「いま、里親になろう!」

できることから、

それぞれの家庭がそれぞれの家庭で

っています。

養育や経済面でのサポート体制も整

っています。

預かる期間は、一泊二泊の短期から、数

年、十数年の長期と様々です。

特別な資格も必要ありません。子どもを

預かる期間は、一泊二泊の短期から、数

年、十数年の長期と様々です。

「いつか」を「いま」に。
いま、里親になろう!

病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため
集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする
保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 8:00～18:00

(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)

利用料 1回2000円(昼食・おやつ代含む)

とやまっ子育て応援券の利用できます。

富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。



朝夕の寒暖差から体調を崩し
やすい季節です。

栄養や睡眠のバランスを整え
疲れをため込まない身体作り
を心掛けましょう。

お問合せ (080) 8697-2773(直通) 電話受付時間 7:30～17:00

※受診後、診療情報提供書の病名を確認し予約電話の際にお伝えください

三 五 七

11月6日(月)3名の子どもが日枝神社に七五三参りに行きました。

初めての着付けに戸惑いつつも、上手に草履で歩くAちゃん、スムーズに着替えて鏡に映る自分の着物姿にうっとりするBちゃん、慣れない草履で歩くのが難しく、脱げるたびに大笑いするCくんなど、それぞれ違う反応を見ることができました。

最初は緊張していた3人ですが、慣れてくるとたくさんの笑顔を見せてくれ、神主さんのお話中もおしゃべりするほどの余裕がありました。トラブルもなく無事にご祈祷を終えることができました。

ここまで大きく育ったことに感謝し、これからも元気にすくすくと成長するようにお祈りしました。



Merry
Christmas!!

12月22日(金)、トナカイカチューシャやサンタ帽子をかぶり、ワクワクしながら食堂へ。さあ、クリスマス会のはじまり、はじまりです♪
ずらりと並んだくおかしのおうち>に瞳を輝かせる子どもたち。

「メリークリスマス！」お菓子を食べながらのミニシアタータイムです。トナカイをつかまえた怖いおばけが最後にはかわいいツリーに変身。みんなほっとしたところで、本物のツリーのある場所へ移動し、サンタクロースのプレゼント箱を開けてみることにしました。

すると中には、「おうたをうたってまっいてね」と手紙が。サンタさんにお歌届くかな。みんな「♪ジングルベル」と歌っていると、どこからかドンドン太鼓の音。もしかして！？と思い「サンタさーん」と呼んでみるも、登場したのはF養育者。「な～んだ(笑)」と子どもたち。Fさんも加わってもう一度「♪ジングルベル」。すると、おやおや？歌をやめて耳を澄ますとギターの色音が…。なんとギターを弾いていたのはH養育者でした。今度こそ！とみんなで大合唱していると、♪シャンシャンシャン…と鈴の音が。三度目の正直。「サンタさーん！！」大きな声で呼ぶと、「ハロー♪」と陽気に登場したのは院長補佐サンタさん。Oさんトナカイも一緒です。見慣れた顔のサンタさんとトナカイさんにそれまで少し緊張していた子どもたちもほっこり。プレゼントをもらう順番をドキドキワクワクしながら待ち、「ありがとう」としっかりお礼を言うことができました。みんな大喜びで、もらった玩具で早速遊ぶ子どもたちには笑顔が溢れていました。クリスマスケーキも食べて楽しい一日になりました。